

HORIKAWA 106th

堀川同窓会報

HORIKAWA ALUMNI ASSOCIATION JOURNAL

第7号

発行 京都市立堀川高等学校堀川同窓会

京都市中京区東堀川通錦小路上がる 〒604-8254 fax:075-211-1526

デザイン・印刷 株式会社サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948 tel:079-284-1380 fax:079-224-7746



こんにちは

堀川高校の同窓会の役員会で、学校へ行きました。玄関でスリッパにはきかえていると女子生徒が「こんにちは」と声をかけて出てゆきました。

そうだ、この間も夕方、玄関で帰ろうとしていたら男子生徒が「こんばんは」と声をかけて通り過ぎてゆきました。

何の目的であれ、学校を訪れる人はお客様です。さりげない挨拶は、人間関係の基本です。

学校の人間教育がゆきとどいていると思いました。

毎年、同窓会として何とか生徒を励まし援助したいという思いから「堀川賞」を続けてまいりました。

三名の将来ある生徒のレポートを見てまいりましたが、学力とともに人間として人格のゆたかさを感じています。

自分の人生ですから、自分の努力あるのみで、学校卒業した時から競争です。

昨日の友人は今日のライバルという環境にはうり出されるのです。

友人や先輩から愛され、信頼される人間になってほしいと思います。

堀川賞も将来とともに形をかえても同窓会として継続してゆきたいと思っています。

堀川同窓会も106年の歴史をかぞえ、卒業生の中には社会的に貢献し活躍している人もたくさんいます。

私は日本文化の継承のため、仕事をしております。

京都には、千年の都であった独特の美学が生きています。

京都に生きる人は、京都の感性を受けついでゆく人達です。どんなに文明が発達しても情緒がひそかに生きるのも京都ならではです。いつも同窓会の事業にご協力を感謝しています。



同窓会会长
市田ひろみ
(高第3回卒)

同窓生の集まり

日頃より母校の発展にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

4月の堀川同窓会で同窓生の方とご一緒にさせていただいた折に、多くの方から当時の高校生活の様子をお聞きしました。生徒歌《緑なす森》にまつわる話もその一つ。生徒歌は、以前に荒瀬克己前校長（現京都市教育委員会教育企画監）に教えていただき、私も歌詞やメロディを知っておりました。校歌のない時代に校歌に代わっていろいろな場面で歌われていたとのことで、同期生が集まるとみんなで歌って当時を懐かしむとおっしゃっていました。

話は変わりますが、同窓会を兼ねた「私を囲む会」を催してくれました。平成7年から18年の間の11年間に卒業した40名が集まり、和やかに会が始まりました。ちょうど校舎の全面改築が行われた前後の年代で、部の活動場所が旧校舎の二階建て体育館から近隣の統廃合された小学校へ、そして新校舎アリーナへと移った時代の卒業生です。それぞれが置かれていた状況やそのときの苦労話、お互いが知らない時代の活動を伝え合うことで大いに場が盛り上がり、OB・OGの間に新たな縦の絆が生まれたことを実感しました。

同期が集まって当時の思い出話に花が咲くもよし、お互い知らないものの同士でも、世代を越えて交流し歴史を確かめるのもよし、その根っこに「堀川」をこれからも大切にしたいと思います。

同窓会の益々のご発展と、同窓生の皆様のご健勝をお祈りするとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



校長
川浪 重治



105回 堀川賞受賞者
嶋康平 松室重哉 久野夏波



105回 堀川同窓会

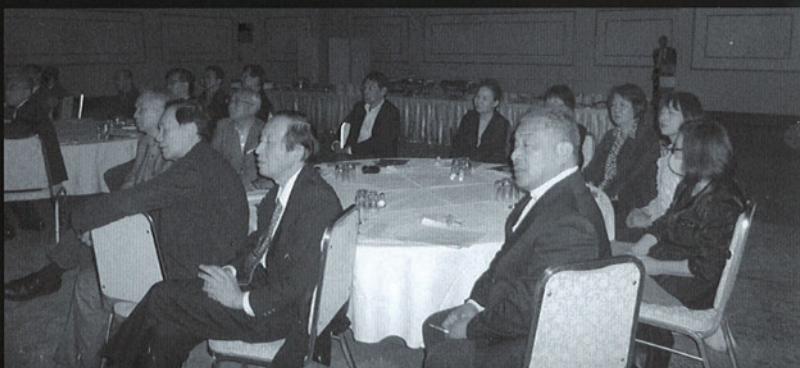
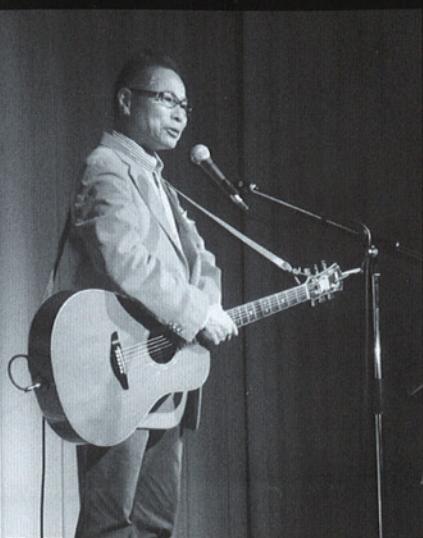
105回を迎えて徐々に周知されて参りました本会。105回は杉田二郎様のお陰もあって100周年以来一番多くの参加者が集い盛大に開催することが出来ました。

京都の学生を中心に創り上げた日本のフォークソングだけあって、杉田二郎さんが歌うどの歌にも会場全体が合唱するというエキサイティングで楽しいコンサートでした。

今回も卒業50年の方々にも多くご参加頂き、一歩一步充実した同窓会が運営されていることを実感いたします。今後も益々のご協力、ご参加下さいますようお願い致します。



105th



京都・堀音同窓会会長就任に寄せて

堀川高校同窓会の皆様、初めまして。

昨年秋に新しく京都・堀音同窓会会長に就任いたしました藤本信行と申します。

京都市立京都堀川音楽高校は平成22年4月に現在の堀川御池に移転いたしまして、音楽科発祥の時以来約50年ぶりに堀川の地名の場所に戻ってまいりました。

堀川の校名を持つ両校は、それぞれに特色のある学校運営を行ってきた結果今や日本を代表する進学校と世界に数多くの著名な音楽家を輩出する名門音楽高校としてその名を知らしめる存在となっており、同窓会員としては本当に喜ばしい限りです。

堀音も平成9年に京都市立音楽高校として独立するまでは、堀川高校音楽科として存在しており、校舎は離れていましたが入学式・卒業式には本校へ合流させていただき堀川高校生として取り扱っていただいていることを私も記憶しております。

同じ堀川通に面する地理的条件が整った今、そんな両校の関係を今まで以上に密なものとしていくことができたら幸いではないかと会長に就任して以来考えております。堀音同窓会は人数も少ないですが、現状同窓会への関心も必ずしも高いとは言えません。今回新体制に臨みましてまず目標として掲げていますのが同窓会総会への出席者を倍増させること。そう

いった観点から、新校舎に併設された立派なコンサートホールを活用し、学校とのタイアップの元平成23年より同窓生によるオータムコンサートを毎年10月第3日曜日に開催しております。本年は10月19日午後2時開演予定です。堀川高校同窓生の皆様にも、ぜひとも足をお運びいただけたらと願っております。

また堀川本校の同窓会総会への堀音同窓生の出席を呼び掛けたり、両校同窓会交流の行事を考えてみたり、両同窓会が手を取り合って更なる母校の発展に協力していくことができたらなどと考えてみたりしています。

京都という伝統の町でとてもユニークな新しい取り組みを時代に先駆けて行ってきた両校の絆がこれからも益々強まり、京都ならではの新しい歴史のページを更に開いていくことができたらと心から願っております。今後とも京都・堀音同窓会をどうぞよろしくお願ひいたします。



京都・堀音同窓会会長

藤本 信行 (32期卒)

同窓会員の皆さん、ご機嫌如何ですか。お元気な方々には益々のご活躍をお祈りいたします。療養中の方々には一層のご自愛を。

皆さん一様に無難に成功するとは限りますまい。昔から七転び八起きといいます。努力をすればそれだけの功があることを念頭に、一路邁進されることを念じています。新聞・テレビなどで、その成功ぶりを報ぜられている姿を拝見することができますが、それだけの精進をされた結果だと敬服しています。どうかその足跡を後輩の為に何とかして披露下さることは、同窓会結成意義の一つだと思いますが如何でしょう。

さて、私は皆さんの堀川高校在学中に、できる限り皆さんと一緒にとなる機会をつくろうと努めていました。運動会・文



堀川高校元校長

米田貞一郎

「堀川」への誇り

化祭・修学旅行（九州）などは勿論、部活動などにも参加しました。おかげで卒業後の同窓会総会・学年毎の同窓会・運動部・文化部のOB集会などに招かれました。その度に感じたのが、皆さんが卒業後も胸に「堀川」のマークをつけて誇りとしていて下さっているのではないかということです。

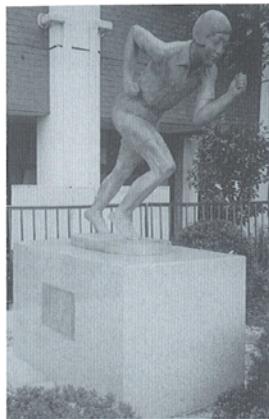
遠い以前のことではありません。今年（2013年）始めに、私は家族・家庭の都合で老人ホームに入居しました。入居当日、皆さんに簡単な自己紹介をしました。それが終わった途端、隣席の清楚な婦人から「あなたは堀川高校の校長ではなかったですか」と声をかけられました。「エエ」と驚きながら「あなたは」と問い合わせもなく、「私は堀川出身で」と続けられる。この時点で私の頭の中に、これは堀川同窓会の役員をして下さっていたあの方ではないかと思い至りました。「同窓会」の高女出身ではありましたが新制高校と一緒にになった堀川同窓会では一体となって活躍して下さっていたのでした。

この方から次に出たのが「堀川はよかった」ということでした。このやり取りを聞かれていた反対側の席の男性から、「私の親戚の男の子も堀川に通っている」と誇らしげな言葉がかけられました。

同窓会の皆さん、胸を張って下さい。胸のマークを書く時は「堀川」と自負して下さい。そして、それだけの価値を身につけていることを証して下さい。

堀川の体育系部活動の礎を創っていただいた2人の女性。

人見 絹枝さん
松崎 操さん



人見絹枝顕彰像 2001.8.2



人見絹枝さんの名前をご存じの方は未だに沢山いらっしゃることだろう。しかし堀川高等学校に僅かな時期とはいえ赴任されていたことを知る人はほとんどいない。

1928年、オリンピック・アムステルダム大会陸上競技女子800m競走で銀メダルを獲得された日本女性初のオリンピックメダリスト、人見絹枝さん。そして松崎操さんはその人見絹枝さんの教え子であった。

松崎さんは、残念ながら平成19年12月にお亡くなりになった。その追悼の意味を込めて発刊された「詩曼陀羅Ⅱ」と人見絹枝さんから松崎さんに贈られた、直筆の歌が書かれた色紙を堀川高等学校に寄付下さったことからこのご縁を知ることが出来た。

時は、堀川高校前身の京都市立第一高等女学校が京都市立堀川高等女学校に変わる1925年、今から89年前のことである。人見絹枝さんは当時18歳、4月に第一高等女学校（その後堀川高等女学校）に赴任された新任体育教師であった。

松崎操さんは人見絹枝さんにあこがれて陸上競技を始められ、人見絹枝さんから直接指導を受けられた生徒であった。

当時はまだ、女性が人前で肌を見せたりすることはタブーとされ、女性スポーツが認知されているとは言えない時代だった。しかし大正デモクラシーの流れに乗り、開拓者の精神に富んだ第一高等女学校では、ちょうど人見絹枝さんの赴任と歩調を合わせるように、陸上競技やバスケットボールなどの体育クラブが誕生していた。これこそ堀川の体育系部活動の原点と言える。

人見絹枝さんは草がぼうぼう生えている運動場の隅を掘り起こし、ピットをつくり、バレー・ボールやバスケットボールの指導を終えた後に一人残って黙々と練習をしていたという。また、陸上部に入った松崎さんが、短パン姿で指導する人見絹枝さんと仲良く走っていたという。

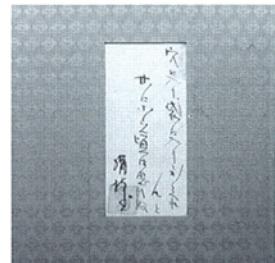
そんな中当時の解釈では、学校の教師であるということは競技のプロと見なされ、競技会の出場が制限されるという決まりがあった。そのため残念なことに人見絹枝さんは惜しまれながら僅か4ヶ月で堀川を去り、母校の体育学校に戻られた。

松崎さんは、たった4ヶ月の短い期間でしたが、一生懸命練習に取り組むことを教えていただいた。人見先生の教えをもとに卒業まで堀川高等女学校で勉学やスポーツに励むことが出来たと話されていたという。

その後、人見絹枝さんは、女子のオリンピック参加が初めて認められた1928年のアムステルダム大会で銀メダルを獲得された。陸上のトラック種目での女性メダリストは、それ以降まだ一人も出ていない。

松崎操さんのご子息も堀川高校の卒業生であり、この「詩曼陀羅Ⅱ」と、人見絹枝さんの直筆の歌が書かれ、お母様が大切にされていた色紙をご寄贈下さった。

校長室から



写真上：人見絹枝さん直筆の色紙
写真下：「詩曼陀羅Ⅱ」
共に堀川高校へ寄贈されました



米田元校長先生と陸上部の梶居さんと
平成10年5月

若き狩人。今は喜寿。

第七回卒 吉田孝次郎

緑なす森 風にそよぎり
木の間もれくる 若き光に
若き狩人 獲物追いつ
口笛の音の よばむかぎり
逃すはあらじ 若き狩人
立てや立て 心のままに
立てや立て 汝は得撃まし。

心地よい優れものが他にはなかろう。行儀よく学んだ旧制京都市立堀川高等女学校。敗戦を一期に男女共学の堀川高校に生まれ変わり、ここで学んだ若人達の歌。

私はこの歌にはけまされて今はもう喜寿。金婚式も終えているのだけれど、心の内は“緑なす森の若き狩人”でありたい。

私は今、1145年目を迎える「祇園御靈会」の山鉾風流の在りようを、本来の姿に戻すことに専念している。

私はたゞず口づさむ。
浪人のとき。武藏野にあつたとき。国会をとりまくデモのとき。ロットアウトで空っぽのグランドで。順天堂のベッドのなかで。亡父を追つて帰京したとき。京町家の復元改修のとき。王将ぎょうざを喰うとき。紀ノ森でデッサンするとき。京の街並みが美しくあれかしと希望。エンレスに成った今、いふどき。京都が光り輝ける時を想うとき。辛苦を越えて私をはげます祇園会の先人に謝るとき。この詞、メロディー、リズムにこれほど

しい行いであることを忘れざることになつてはいなか?

地域住民の80%がマンション住いの人々となり、将来この人達に山鉾風流を受け渡してゆかねばならぬ現実を直視する時、私達の世代に荷せられた責任は、祇園会と山鉾風流の本来の在りようを正しく伝えることにあるのです。

応仁の乱で33年間とだえた山鉾風流の巡行は明応9年、西歴1500年に復興をはたして600有余年、先の戦争で4年間巡行できずであつたのが、昭和22年に四条通りに長刀鉾に月鉾が勇姿を現し、翌23年に新町通りに船鉾と北觀音山が建てられ四条寺町

50年前、国際文化観光都市京都が、御池通を将来の発展を願つシンボルロードと位置づけ、祇園会の山鉾をここに勢揃いさせる観光政策は、復興期の京都にとって整合性はあつたし、この観光収益で山鉾の修理も進み、祭運営の基盤は整ってきたのだが?

私は第17回。私をささえてくれる公益財団法人、祇園祭山鉾連合会副理事長 福井藤次郎(鈴鹿山)

岸本吉博(放下鉾)の両氏。会計

創つてゆきたい。
進学校と名高い昨今の堀高。曳手ボランティアや給水接待に男女生徒も多数参加してくれることも喜ばしいかぎりです。

私は、1145年目を迎える「祇園御靈会」の山鉾風流の在りようを、本来の姿に戻すことに専念している。

600有余年、先の戦争で4年間

巡行できずであつたのが、昭和22年に四条通りに長刀鉾に月鉾が勇姿を現し、翌23年に新町通りに船鉾と北觀音山が建てられ四条寺町

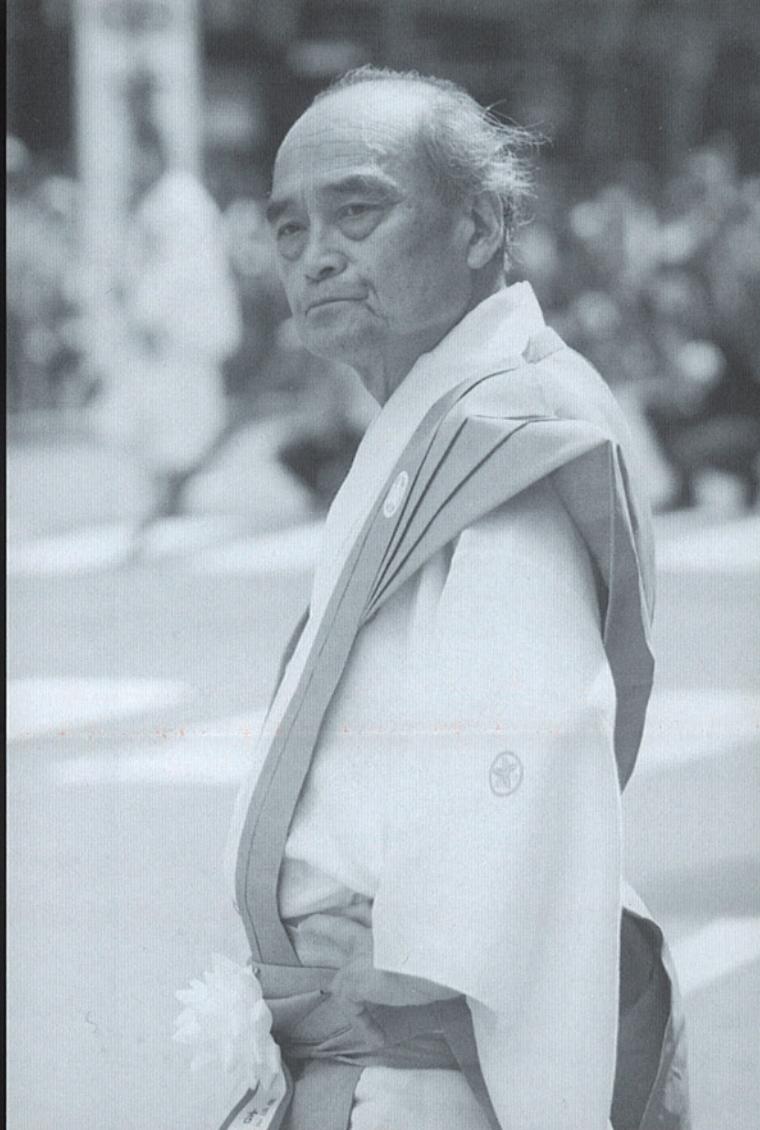
6年後のオリンピックの年には、念願の「三条通を東行する後祭の山鉾10基を身近かに観ていただけるものと想い居ります。

祇園会に新たなるにぎわいを創つてゆきたい。

進学校と名高い昨今の堀高。曳手ボランティアや給水接待に男女生徒も多数参加してくれることも喜ばしいかぎりです。

手ボランティアや給水接待に男女生徒も多数参加してくれることも喜ばしいかぎりです。





堀川同窓会を永遠に繋げていく為に。

堀川同窓会が百周年を迎える為に新たに同窓会を構築し直すこととなり、情報の伝達に必然なのが名簿の作成でした。個人情報の扱いがうるさく取りざたされる昨今、この決断は懸念していた通り多くの苦情が学校の事務局に舞い込むこととなりました。堀川高校が新しい校舎とともに大きな変貌を遂げた後で大変お忙しい中、とてつもないご迷惑をおかけしました。

本会は会長をはじめ、役員の皆様に加え事務局といつても有志3人程度が好意で運営しているに過ぎません。とはいえ、3万人強の同窓会は5年ごとの名簿作成と毎年一回の広報誌発行、毎年4月第三土曜日の同窓会を開催しています。気がつけば、10年近い歳月が流れました。誰しもが確実に年を取って行く中、この先の同窓会運営を後輩に繋げる為に考えついたのが昨年決定した還暦を迎える学年に「一生に一回だけの同窓会運営」でした。

昨年、本当にありがたいことにこの案件を受け入れて頂



き、受ける以上はと、沢山のご意見も頂きました。

この引き継ぎ案はその一年前、高14回・昭和37年卒業の松田さんからの提案で「卒業50年をお祝いして欲しい。」との申し出から始まったといつても過言ではありません。結果毎年卒業50年の方々をご優待しようと決定したことで、記念すべき学年に同窓会運営の一部をお願いするという発案に行き着き、還暦を迎える学年への依頼へと発展しました。

そして、この案件を受け入れて頂いた高25回、昭和48年3月卒の役員さんから頂いたいくつかの意見を検討すべく、役員会がもたれP9の内容について意見交換がなされ高25年の役員さんを交えた役員会で討議決定されました。結果、P9の内容が見直されました。

■今年は名簿作成の年にあたります。

6月頃調査のお便りが皆さまの所に届く予定です。ご対応宜しくお願ひいたします。

今年度は名簿作成の年にあたります!!

1. 堀川賞の見直し。

数年前から現役学生の経済的困窮生の増加に対し、学長から同窓会への応援依頼を検討。結果今年度を最後に堀川賞を一旦終了し、副賞の30万円を現役の高校3年生6名に奨学金として貸与することに決定。

2. 次年度と次々年度還暦を迎える学年を同窓会に無料招待する。

次次年度還暦を迎える学年の同窓生の方々には、同窓会の様子を把握いただき、同級生の連携を取っていただく為に参加いただく。無料招待。

次年度還暦を迎える学年の同窓生の方々には、次年度の企画をするにあたり詳細の把握をいただく為に参加いただく。無料招待。

3. 卒業50年の方達も優待でなく無料招待する。

昨年までの二年間は同窓会費￥2,000のところ￥1,000でのご優待でしたが今年度から無料でご招待することに決定。



今年度、ご招待する学年

●高16回卒(昭和39年3月卒業)

卒業50年の同窓生

●高26回卒(昭和49年3月卒業)

2015年還暦を迎える同窓生

●高27回卒(昭和50年3月卒業)

2016年還暦を迎える同窓生

●高66回卒(平成26年3月卒業)

新・堀川同窓生

■高26回卒 昭和49年3月に卒業の同窓生の皆様 !!
来年の同窓会運営をよろしくお願い致します。



ばんばひろふみ

昨年に引き続き、京都が生んだフォークソングの申し子。1969年にプロデビュー。1971年にバンバンを結成。1975年「いちご白書をもう一度」がミリオンセラーとなる。その後ソロとなり、1979年に「SACHIKO」が大ヒット。「ヤングタウン」や「セイヤング」など、ラジオ深夜放送の黄金時代を築いた。

アーティストとしての活動の他、名パーソナリティー、俳優としての活躍の場を広げている。現在は神戸にある「ラジオ関西」にて毎週金曜日am9:00~11:45「ばんばひろふみラジオdeしょー」を16年間務め、2013年4月からはFMCoCoLoにて毎週日曜日10時~14時の4時間の生放送「The Beat Goes On Sunday」のDJを担当している。2004年9月末~2005年3月末まで放送されたNHK連続テレビ小説「わかば」をはじめ「水戸黄門」など俳優としても活動。現在も京都在住。2012年13年ぶりのNEWアルバム「メイドイン 京都」を発売。

本名：馬場弘文 生年月日：1950/02/20 出身地：京都市 血液型：B型

HORIKAWA 106th

106回 堀川同窓会開催 参加者募集

日時：2014年4月19日(第3土曜日)午後2時～

場所：京都国際ホテル

内容：1. 106回 高25回卒・同窓生による
ばんばひろふみ フォークコンサート
2. 堀川賞授与式
3. 小宴

会費：2,000円(一般会員)

無 料	高16回卒(昭和39年3月卒業)	卒業50年の同窓生
	高26回卒(昭和49年3月卒業)	来年還暦の同窓生
	高27回卒(昭和50年3月卒業)	再来年還暦の同窓生
	高66回卒(平成26年3月卒業)	新・同窓生

申込：別紙FAX用紙又は電話にて4月1日までにお申し込みください。

私たち第25回・昭和48年卒業生「にこにこ よんぱち会」は、昨年同窓会本部からのご依頼により、106回全体同窓会を運営することになりました。

何度も会議を重ね皆様に楽しんで頂ける企画をと相談し、ばんばひろふみさんのコンサートを開催することが出来ました。

私たちの青春時代から、いつも、そして今も私たちのそばにいて活躍されてきたばんばひろふみさんとともに楽しい一時を過ごしたいと願っています。

無料ご招待の学年

- 高16回卒 (昭和39年3月卒業) 卒業50年の同窓生
- 高26回卒 (昭和49年3月卒業) 2015年還暦を迎える同窓生
- 高27回卒 (昭和50年3月卒業) 2016年還暦を迎える同窓生
- 高66回卒 (平成26年3月卒業) 新・堀川同窓生

2013年度 卒業生の皆さんへ

2013年度 第六回「堀川賞」募集

今年度エッセイタイトル

「飛翔」 —未来に向けて—

対象者：2014年3月 堀川高等学校卒業生

締め切り：2014年3月20日

賞金：各10万円 優秀作品3部

堀川賞：100周年を記念して設立された堀川賞ですが今回をもって一旦終了いたします。今年度3名の受賞者は2014年4月19日に開催される同窓会にて会長より副賞金10万円とともに授与されます。（一旦終了致します経緯の詳細はP8、P9を参照ください。）尚、受賞作品は堀川同窓会HPにて全文を掲載いたしております。

救う会京都より



毎年、同窓会報に救う会京都からの報告を掲載頂き感謝申し上げます。各都道府県にある救う会の中、京都だけが横田早紀江さんが卒業された堀川高等学校の同級生（鈴山正氏）が立ち上げたものです。現在の会員も堀川の同級生、同窓生またその家族が中心に活動をしております。今年こそは解決を、帰還をと、ひたすら願い続けて参りました。しかし周知のとおりなんら解決の目処もつきません。それでも最後の最後まで決して諦めず全員の帰還を確信し応援していく所存です。

皆さまのご支援ご協力を心からお待ちしております。

救う会事務所：下垣：TEL：075-241-1663 FAX：075-241-1677

事務局より

大切なお知らせ 今年度は名簿作成の年にあたります!!

6月頃㈱サラトより名簿作成の為調査のお便りが届きます。

御対応の方宜しくお願ひいたします。

尚、堀川高校へのお問い合わせは御迷惑となる為、御遠慮下さい。

不明な点がある場合は㈱サラトの特設電話（調査の際明記）か下記の電話に御連絡下さい。

090-3713-6107（石田まで）

編集後記

堀川同窓会は今年で106年目を迎えます。総数約3万人の会員で構成されています。同窓会100周年を目前に全体の構築に取り組み出して早くも10年近くが経ちました。お陰さまで少しづつ縦の関係も繋がり、ご意見も多数頂けるようになって参りました。今年は皆様からの投稿を是非ともお待ちしております。